

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

<b>事業所名</b>	グループホーム かえて
日付	平成18年10月10日
	特定非営利活動法人
<b>評価機関名</b>	ライフサポート
評価調査員	在宅介護経験9年
評価調査員	ケアセンター介護支援専門員 経験5年
<b>自主評価結果を見る</b>	
<b>評価項目の内容を見る</b>	
<b>事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)</b>	

### 外部評価の結果

<b>講評</b>
全体を通して(特に良いと思われる点など)
「どんな事があっても、人を殺し合う戦争だけはいけません。私は、戦中・戦後、本当にひどい暮らしをしましたよ」始めて会った さんの体験話は、戦後を知る私の心に響いた。思い出したように「ところで、あなた、どこから来たん？」の応答が数えられないくらい繰り返される。しかし、戦争の話から一転してこのホームでの暮らしの話になると頬が緩み、本当に幸せそうな笑顔となって、私まで涙が滲みそうになった。 さんから「認知症になっても心は生きている、どこか「今の若い世代にも伝えたい位の貴重な存在感」を感じた。と同時に、「一人ひとりを尊重し、満足していただけるにはどうしたら良いだろうか？」と悩むこのホームの皆さんの汗をしっかりと見つめる事ができた。利用者に対するこの一生懸命な職員の気持は、お年寄りの笑顔につながっている。
私が今まで約40のグル-プホームを訪問して来て、これ程、自主評価に真摯な姿勢で向き合っている所を見たことがない。勉強会や「介護の改善コンクール」に一生懸命取り組み、また、職員間の話し合いも密度の濃いものとなっている。かなりのレベルに達して「これっていいの？」と悩む姿勢は実に素晴らしいと思った。
「現状で満足しない」、この気持がある限り、昨年より今年そして来年と、どんどん進化していかけるのではないだろうか。
特に改善の余地があると思われる点 次のような提案をした
一人ひとりの思いや願いを聞き出したり、表に出す為の工夫や仕掛けに、今以上、力を入れてみて下さい。引き出せた事は何かの形に残してみてもいいでしょう。
「個々の能力を生かした、温かいケア」を実現させるために、一人ひとりの利用者をより深く知り、より良く向き合い、得られた情報を共有し合える工夫と努力をしてみてください。
「ホームの事は、私達にお任せ下さい」という姿勢ではなく、「利用者と家族、さらに地域社会も巻き込んで、一緒に考えていこう」とする方向性で進めてみられてはと思います。

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
<b>記述項目</b>	グループホームとしてめざしているものは何か		
	「その人一人ひとりを見つめて、その生活リズムに合ったケアを出来る限りしていきたい」「一人ひとりの個性を大切にすること、9人という集団生活の良さを融和させ、“みんなで一緒”を生かせる暮らしを考えたい」と願う代表者や管理者こそ、グループホームならではの姿ではないだろうか。「 さんは、本当は何をどうしたいのか」「私達の誘いかげが本人の意志に添ったものになっているか?」「おとなしい利用者への配慮は?」等の心配りがあちこちで見られるのもうれしいことだ。		
	また、「生活の中で、利用者が出来る事を最大限に生かして、その人の生き甲斐につなげよう。笑顔につなげよう。その笑顔を見て、職員も元氣とやりがいをもたらそう」こういった相乗効果も、このグループホームの目指しているものと感じた。こんな関係性が、じわっと伝わって来て、ほのほのとした気持ちになった。		

生活空間づくり			
番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
<b>記述項目</b>	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	利用者の笑顔を見る事を職員のやりがいとなし、出来る限り慣れた人と安定した生活を継続させる事こそ大切な場づくりの基本と心得て、日々ケアしている様子がよく伺われた。		
	また、利用者自筆の氏名のボードや「その人の人生の中で一番輝いていた時」の大きな写真を居室入口に掲示する等、細やかな心遣いは、家族にとってもありがたい事と思う。		
	リビングルームの中に憩える空間を創り出しているのも効果的だ。ほんのちょっとした工夫や心配りが、場作りに好ましい影響をもたらしてくれる。		

### ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人ですることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
<b>記述項目</b>	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	「これは、私の仕事。仕事があると嬉しい!!」と満面の笑顔を向けるのは古参と言うさん。取り込まれた洗濯物を畳コーナーに座り込んで、テキパキと個人別に分類しながら仕事をしていく。きちんと畳まれた洗濯物の上に、大きな氏名札が置かれているのを見て職員の気持が全部私の方に伝わってきた。 さんの幸せそうな、そして得意そうな艶々した笑顔は、私の心まで明るくしてくれる。		
	また、「自分から発語・表情のない利用者とのコミュニケーション」をこのホームの一つの課題としているが、ほんの一寸した表情の変化や、物言いたそうな目付き・くさきに敏感に動く職員が居て、「いい感じだなあ」と思うので、これに加えて「さらにその人を知り情報を共有する」努力を重ねて下さい。		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
<b>記述項目</b>	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	「多ければ多い程、事故は減る」という信念より、「ヒヤリハット」の報告は出来る限り記録しようとしているし、家族会でも報告している。また、「職員の接遇について」「入居者のケアについて」等、家族へのアンケートを実施し、サービスの質の向上に向けて努力している。こういった姿勢は、他のグループホームにも見習って欲しいと思う。		
	また、毎月の目標は、分かり易く、シンプルで具体的、実現可能な目標を一つ一つ積み重ねているのが良い。これからもこういった地道な積み重ねをしていって下さい。		
	全体的に向上しようという意欲が強く感じられます。法人グループ間での研究発表や勉強会に加えて、他のグループホームとの交流も図って下さい。そして、これだけの取り組みをしている素晴らしいホームを他にも発信し、地域のリーダーになって下さい。		